

かわらばん

第52号 2023年10月15日



夜の街に彷徨う若い女性たちと繋がるCOLABO代表
仁藤夢乃さんインタビュー 男たちの攻撃に毅然と立ち向かう……聞き手 角田由紀子

投稿集 原発・汚染水 黙ってなんかいられない
次の選挙では、断固「自公政権ノー」を！……林 克行
原発は国を滅ぼしかねない……鈴木忠夫

アルプス処理汚染水海洋投棄の中止を求めます！……渡辺真知子
メールで読書会6 平野卿子著『女ことばってなんなのかしら？

「性別の美学」の日本語』……角田由紀子/村山千津子/三井富美代
ドキュメンタリー映画「ワタシタチハニンゲンダ」が私たちに突きつけるもの……丹羽雅代
短信：一票で変える女たちの会FBから

*記事中のURL、一部の写真は、出典サイトとリンクされています。クリックするとリンク先が開きます。

夜の街に彷徨う若い女性たちと繋がるCOLABO代表

男たちの攻撃に毅然と立ち向かう

仁藤夢乃さんインタビュー

若年女性の支援活動を精力的に続けてきたCOLABOとその代表である仁藤夢乃さんに対して、昨年来「暇空茜」と名乗る人物による膨大な量のデマ・誹謗中傷がインターネットに流れ、それに加担する男たちの攻撃が続いている。八月二十九日、一票の会では仁藤さんを招いて、これまでのCOLABOの活動と今起きている事態についてオンラインでお話をうかがった。あまりに異常な攻撃の実態にメンバー一同絶句しつつも、何とか支援をしなければという思いを強くした。

インタビューは角田由紀子（一票で変える女たちの会、COLABO理事、弁護士）。

夜の街を彷徨う少女に声をかける
のは買春者と性売買業者

角田 まず、COLABOの設立やその動機、どのような事業を行ってきてどんな成果があったのか、お聞かせください。

仁藤 COLABOは二〇一一年に私が学生だったときに立ち上げ、二〇一三年に大学を卒業するのに

合わせて法人化して今まで続けています。私自身が中高生時代に家が安心して過ごせる場所ではなくて、夜の街を彷徨う生活をしていくのですが、そういうときに声をかけてくるのが買春者や性売買業者、そういう人しかいなかった。そんなことから、女の子にそれ以外の選択肢がある社会にしたいと思つたことが立ち上げの動機の一つです。



仁藤夢乃 (にとうゆめの) さん

1989 年生まれ。中高生時代に街をさまよう生活を送った経験から、10代女性を支える活動を行っている。

主な著書に『難民高校生—絶望社会を生き抜く「私たち」のリアル』(英治出版 2013、ちくま文庫 2016)、『女子高生の裏社会—「関係性の貧困」に生きる少女たち』(光文社新書 2014/8/7)、『当たり前を手に入れるために—性搾取社会を生きる私たちの闘い』(影書房 2022)。写真・文は <https://colabo-official.net/about/staff/> から



もうひとつは、一八歳のときにフィリピンに行く機会があって、マニラで日本人向けに売られていた若い女性たちと出会った経験がありました。初めて行った海外で、フィリピンまで来て日本人男性たちがこんなにくさん買春していました。それまでにはさすがびっくりし、家に居られないし、自分が声をかけられてもしようがないんだと思っていました。何かもつと大きい問題があるんじゃないかと初めて思っただけです。

日本語を喋るし、日本語で「リサ」「アヤ」といった源氏名を付けられていました。そういう女性たちがなぜ性売買に追いやられてしまっているのか、この状況を何とかしたいと思いましたが、そのとき初めて何もできない自分の無力さを感じました。それで社会の仕組みがわかれば何かできるかもしれないと思っ、明治学院大学に進学したんです。

でも同じようなことがある、ストリートチルドレンのように路上で過ごしていて、業者や買春者にか関心を持たれずに性搾取の被害に遭っているという話をしても、大学で出会うような人たちは、日本は恵まれている国だから、男女平等だから、努力すれば誰でも大学くらい行ける、それは自分の責任でしょう、というようなことを言う。ああ、全然わかっていないんだなと思いました。路上で過ごしてきた仲間たちはほとんど中卒とすごく感じていたし、だからこそ知っている自分がこの問題をやるしかないというような認識が生まれました。

声かけ(アウトリーチ)の活動を始める

まず私たちは、夜の街で少女たちと繋がる活動として、声かけの活動に力を入れています。それは「アウトリーチ」と言われて、最近ではその概念や言葉も広がりつつあるようです。

私たちが繋がっている少女たちというのは、小さい頃から学校や児童相談所や家などいろいろなところで SOS を出してきたのに、そこでその声を拾われていない、聞かれてきていない、聞かれたとしても無視されたり、その子自身が悪い子として扱われたり、大人の都合で支配的で管理的な対応をされてきたことから、公的機関や大人に対して強い不信感を抱いている。だから、もう自分から相談しようと思わない状況にある。

一方で行政の支援や既存の支援というのは、窓口に来たら話を聞くよという待ちの姿勢。でもそういう所には少女たちはそもそも行かないし、調べることもない。自分から助けを求めようと思えない状況にある子たちに目を付けて声をかけて、ご飯食べさせてあげるよ、泊まる所あるよと近づいてくのが買春者や性売買の業者なので、そうではない声かけを私たちがしなければいけない。本来ならば、街にいる少女や女性たちに声をかけて繋がるという活動を

と続けています。また、SNSなどで直接女の子たちと繋がってやり取りをすることもあります。

街を歩くだけで少女や女性たちは性売買の選択肢をいくつも提案されるんです。そうではなくて、本当は、泊まる所がないならこういうものが利用できる、ご飯に困っていたらこういうものがある、お金がないんだったらこういう仕組みがあるよと、歩くだけでそれくらい支援の選択肢があるような社会だったら、女性たちも選べると思うんです。今そういう選択肢もないなかで性売買を選ばされている、そこに追い込まれている、そういう社会の構図を変えたいと思って声かけの活動をしています。

ただ、単に声をかけるだけではやっぱり繋がれない。何かあったら連絡してと言うだけではなく、こういう場所があるから来てみたいな、泊まれる所があるよと言えるような女の子たちに開かれた場所を作りたいと思いました。それで二〇一五年にクラウドファンディングで皆さんからいただいたご寄

付を元にして、夜でも駆け込めるシェルターを作りました。女の子たちにはColaboと呼ばれていた場所で、夜でも繋がっている子たちはその場所を知っていて、いつでも来られるというような形で始めました。

でも一時的に泊まれる場所があるだけではそのあと住める所がなかった。児童相談所などに繋いでもハイティーンの子どもたちが利用できるような選択肢が全然なくて、特に家出の経験があったり性売買の経験があったりすると問題児として扱われて、ケアしきれないからとか、他の子に悪影響があるからと言われて受け入れてもらえない。精神科にすら大変すぎる入院させてもらえないようなことがたくさんありました。そういう子たちは結局、私の自宅の近くでアパート暮らしするしかない。なので、住める場所を自分たちで作ろうということでシェアハウスを作って、そこを中期シェルターとして三人の子が暮らせるようにしました。それもあつという間に埋まってしまったので、どん

どん増やしていった、最終的には五物件、一五人まで入れるようなものを作りました。

バスを使った「つぼみカフェ」スタート

そういう活動をしている中で、二〇一七年に韓国で一〇代の青少年向けの「動く青少年センター」という、バスを使ったアウトリーチをやっている団体があることを知り、その活動を見て、これを日



Tsubomi Cafe (2022年10月ColaboのX [ツイッター]から)

本に持ち帰りたい、私も歌舞伎町でやりたいと思ったんです。ただ声をかけるだけではなくて、その場所にカフェがある。その日韓国ではサムギョプサルを提供していました。私たちもたこ焼きを持つて行って焼いたんですが、今日たこ焼きがあるから来なよと街で声をかければ、お腹が空いているからみんな来るし、その場で顔見知りになれるというのがいいなと思って、二〇一八年の一〇月から「つぼみカフェ」という一〇代の少女向けの無料カフェを新宿歌舞伎町と渋谷で始めました。

それまで東京都などにこういう少女たちの実態を伝えたり、住める所があまりにもないから作ってくれないか、使える制度がないか、東京都自身で増やしてくれないかと、そういう交渉をしてきたんですが、家に帰れないそんな難民高校生みたいなお子さん、性搾取の被害に遭っている子なんて何人いるのかと、むしろ聞かれる。そういう子がいるということ自体全然認識されていないし、支援の対象とされてこなかったことがわかりま

した。

そんななかで活動し続けてきて、「私たちは買われた展」という児童買春の実態を伝える企画展を二〇一五年から少女たちと一緒に開催したこともあって、その頃から報道も変わってきたと思います。それまでは「売春」少女の闇」といった書き方が多かったけれど、少女たちにも事情や背景がある、くらいなレベルまで報道も変化してきた。だけど本当は、少女たちの背景というよりも、大人の加害にもっと目を向けるようにしていきたいと思っているんです。

そういうこともあって東京都も厚労省もこうした若年の少女たちへの支援を行っていくことになり、私たちの取り組みを知って、厚労省が若年被害女性と支援モデル事業を作る話が出てきました。

実はその構想の段階から、こういうものを作るけれどどう思うか、意見がほしいと言われていて、最終的には私たちがやってきた活動そのものというような、ア



郵送でも食べ物を送っている。
ColaboのXから。(10月2日)

ウトリーチ、一時的な宿泊場所の提供、中長期的な住まいの支援や自立支援、児童相談所や女性相談センターなどと連携してその先を支え伴走していく、といったモデル事業になってきた。それだったから私たちがそれを担うことで予算化され、全国に草の根で活動している人が参加できるようになればという思いで申請して、その事業を受けることにしました。

年間九〇〇人ほどの子どもたちがつぼみカフェを利用していましたし、声かけの活動も夜の街で続けていきました。そういう活動が成

果を上げて社会にも必要性が認識されていつて、さらに去年の五月に日本ではじめての女性支援の根拠法である女性支援法が成立しました。

この法律に関する会議には二〇一九年から私も構成員として入り、現場で起きている性搾取の現状や、公的機関にそういう子を繋いでもいかにダメかということを描き続けました。成立後も基本計画を作る有識者会議の構成員にも加わり、そこで初めて「性搾取の構造から抜け出すための支援」という内容を基本計画に入れさせることに成功したんです。

でもやはりその影響が大きくて、新法ができて性搾取の構造から抜け出すといったことや、若年女性支援にお金が付いて制度化されるとなると、それを恐れた性売業者たちや、性売買によって利益を得ているような議員や権力者たちが、一斉にColabo叩きを始めたわけなんです。

もう一つ去年の五月にAV新法(通称「AV出演被害防止・救済法」)が成立しましたが、そのと

きお金を介した性行為、性売買が契約の名の下に合法化される内容が盛り込まれているという懸念から、私たちはそれに反対をしてみました。そうやって真つ向から性売買や性搾取に反対する声を私たちが上げていたことに対しても、すごく拒否感、危機感を抱く男たちが集まって、今Colaboへの攻撃が始まっているのだと思います。

激化する男たちの攻撃―裁判

角田 Colaboの活動は公の所が本来やるべきことを仁藤さんたちがやってきて、その功績が認められて国や都に対して発言していったという経緯があります。そうしたら今度は買春側の男性からものすごい反発がきた。それが非常に象徴的に起きたのが昨年の夏以降のSNSでの妨害行為なんです。ではもうちょっと詳しくお話を続けてください。

仁藤 「暇空茜」というアカウン トでデマや誹謗中傷を拡散している中心人物(四〇代男性)がどう

して Colabo の攻撃を始めたのかはよくわからないのですが、私が「温泉むすめ」というアニメのキャラクターを批判したことがきっかけとか、今一番有名なフェミニストだからだなどと SNS で発信しています。

その温泉むすめというのは観光庁も後援していたキャラクターで、中高生を含む少女の設定で、たとえば、夜這いを楽しみに待っている温泉むすめ、スカートめくりをされるのが好きな温泉むすめ、セクシーで肉感がある温泉むすめというようなキャラクターが全国の温泉地で使われていることに気づいて、それを批判する投稿をしました。そうしたら Colabo に対して、注文していない物が届く「送り付け」の被害が何百もあつたり、殺害予告やレイプ予告がたぐさんきました。少女や女性の性の商品化を守りたい人たちが SNS 上でいて、表現の自由を守るという建前で、そういう人たちにすぐく目を付けられて攻撃されたことがありました。

暇空は、Colabo が東京都に提

出した報告書や、私が SNS に出した女の子たちの日常の大事な思い出になるようなエピソード、写真などを組み合わせたり、支援者の方に丁寧に説明しようと思つて細かく出していた会計報告を悪用して、無理やり切り貼りをして、不正があるようにデマをでっち上げ、それを拡散しました。

私たちへの攻撃はこれまでもずっとされ続けていましたが、特にレイプ予告や殺害予告がひどくなつたのは、やはり当事者がその性売買の現状について声を上げたときです。まずはじめは二〇一四年に JK ビジネスの実態を告発したとき、次が二〇一六年に「私たちは買われた展」で買春の被害に対して声を上げたとき、そしてその次が今現在です。

この暇空がネットで会計に不正がある、共産党と繋がりがあつたと言つて、反共の人たちを煽りたてたりネトウヨたちと連帯するようなことを始めました。活動や実生活への直接的な影響の恐れを感じますいなと思つたのは、バスカフェで使用していたバスが切り

つけられたことです。そのことをきっかけに、今の弁護士でもある神原弁護士が、もうこれはヘイトクライムだから放置していたらますますひどくなる、ちゃんと法的に対処した方がいいと言つてくださつて、角田さんも弁護士に入つてくれて、裁判で闘うことになりました【注】。

東京都が妨害に屈して委託事業を中止

とにかく私が声かけの活動に出ると、街で性売買業者の男たちなどが三〇人くらいであつという間に困つてきて、歌舞伎町から出ていけ、帰れ、金返せとか、説明しろなどと言われたりしました。暇空が東京都に対して監査請求をして、その監査の結果もちろん不正はなかつたと明らかになつているのに、妨害者たちはそういうこととは関係なく、とにかく嫌がらせのために来る。

そういうときに警察がまったく助けてくれない。警察も含めて買春している人もいますし、警察も

家出している少女や体売っている女性をすぐく下に見ているので、Colabo が性暴力の被害に遭つた女の子を警察に連れて行つてもまともに相手にしません。「今取り込み中だから、シッシッ！」と、普通にそういう扱いをするし、性被害に遭つたと言つても、「パパ活したかつたんでしょ」とこの前も言われました。「体売つてるんでしょ、お金欲しかったんじゃないの」と刑事も言う。やはり私たちの活動をあまりよく思っていない。根底には女性蔑視があると思います。

自分たちの加害する権利、買春する権利を守りたい人たちが団結して、Colabo をひどい目に遭わせるという妨害が続いたことから、なんと東京都が、危ないから活動させないと言つてきて、東京都の委託を受けていたバスカフェの事業について中止要請をしてきたのです。これは本当にショックだった。ひとこと東京都が、活動への妨害を許さないと言つてくれれば収まつたと思うんですが、むしろ危ないからさせないというこ

とで、Colabo に中止を要請して場所を使わせなかった。東京都に提示する領収書の女の子の名前を、彼女たちを守るために伏せたことも問題にされました。

議員の働きかけもあると思うんです。性売買業者から利益を得ている議員、AV業者と繋がって業者と一緒に活動しているような議員が Colabo 攻撃にかなり加担している。現場にも突撃に来ていますし、デマの拡散にも加担しています。選挙ポスターなどに「Colabo 不正追及」などと書くなど、Colabo 攻撃を表に出すことで当選した人もいました。そういうことで東京都も Colabo と関わると大変なことになる、すべて私たちのせいにして自分たちを守りたいとなっていた。

若年女性支援事業は三年間はモデル事業で、そのあと本事業となつて、最初は委託費が約一千万円だったのが、本事業になった二〇二一年度に約二千六〇〇万、そして昨年度は約四千六〇〇万まで私たちが予算を要求して上げさせていた。妨害を受けて、東京都

はそれを委託事業でなく補助金化すると言いだめた。そのため、二〇二三年度からは事業の実施主体は東京都ではなく、一団体になると言われました。

その補助金の申請要項には女の子の名前などの個人情報や東京都が求めたときには開示するようにという内容が盛り込まれて、その誓約書も書かせる中身になっていて、明らかに Colabo 外しと読めるようなものでした。

公的機関に繋がれずにいる少女たちは、公的機関に不適切な対応をされたことや、「非行」と捉えられてしまう家出や性搾取の被害に遭うなどしてきたことから、Colabo に相談したら、自分たちの情報が行政に伝わると言うことでは、私たちと関わることを拒否することになるでしょう。また、行政職員の娘が虐待から逃れてくることもあり、誰をいつ保護したのか等、少女たちの情報を、本人たちの許可なく行政に教えることはできません。そのため、私たちはこれに申請はしないで、今年度は自分たちだけでやっていこうと



オンライン署名 Change.org では 37,800 筆近くの賛同を集めた。

いうことを決めて、すべて寄付だけでやっています。

買春の実態に無関心な日本社会

若年女性支援事業の他にも、DV 交付金という、シェルターでの専門支援強化のための補助金を二〇二一年から二年間、年間約一千万円活用して、子どもの代理人として活動する弁護士費用に充

てていました。児童相談所や女性相談センターなどで適切に対応されないケースが多くあることから、本人の意思を尊重した支援を行うために、保護を求める少女に代理人弁護士を付ける取り組みに、初めて公費で予算ができました。しかし、これについても「公金の二重取り」などのデマが拡散され、二〇二三年度から、DV 防止法に基づく配偶者からの暴力被害者支援を行う団体に対象が限定されました。

そのため、Colabo は二〇二一年度活用していた東京都からの委託費や補助金約五千六〇〇万円に申請できなくなりました。

さらに民間からもらっていた約二千万円の助成金も、攻撃の影響もあって様子を見たいと言われてなくなってしまう、これまで七千六〇〇万円もらっていたお金が今ゼロになって、今年度はみなさんからの寄付だけで何とか続けています。

そのうえ、妨害の影響としてシェルターの場所も特定された



現在の Tsubomi Cafe (2023年9月の Colabo Xから)

り、自宅にも突撃されて、いくつもシェルターを閉めています。シェルターを閉めるということとは、ただその物件がなくなるというだけでなく、シェルターを出た後も近くでアパートを借りてその地域で暮らしていた女の子がいるんです。そういう子たちがせっかく危険から離れて生活を取り戻していたのに、その生活そのものが奪われ、危険に晒されている。

る。実際にその女の子たちが住んでいる物件も写真で晒されてしまったこともあって、影響が本当に深刻です。

バスカフェのバスも東京都と手を切ったことで今までの活動場所であった新宿区役所に停められなくなり、渋谷区から借りていたシェルターも使えなくなってしまう退去しています。そのせいでお金もすぐかかりました。

今は市民の力でバスカフェを再開し、場所を貸してくれる人がいてそこでやっています。公的支援からこぼれ落ち、性搾取の被害に遭っている少女たちの支援は、本来であれば行政がやるべきことだとやっと認識させ始めて、来年からは女性支援法も始まるのに、今こういう状況になっている。

日本社会では買春の実態にみな無関心です。男たちが連帯して買う権利を守り、陰謀論でレッテルを貼って私たちが潰しにかかっている。そのことよって一番誰か追いやられているかといったら、路上に立つしかない女性たち、そういう選択肢しかない女性たちで

す。私たちはそういう実態を告発しようとしています。買春男の実態をちよつと言うだけでもすごい攻撃に遭い続けています。黙らせようという勢いがすごい。若い人も、おじさん、おじいちゃんも、あらゆる男性たちがそこに参加して、それは特別な男たちによる攻撃ではなくて、普通の男たちの連帯によって今私たちは攻撃されているという実感がすごくあります。

怒りを共有して女たちの行動につなげよう

角田 私もかなりのことを知っていたつもりですが、あまりのことにもう言葉もないというのが実感です。だからこそその実態を表に出そうとしている仁藤さんたちが攻撃されているんだということも、実によくわかりました。だから、仁藤さんだけではなくて、たくさんの女性たちがそれを支援して、一緒に闘っていかなければいけない。

バスへの攻撃のときに、バスを

守るために女の壁というのができましたよね。Colaboを支援する女性たちが集まってきて、男たちをバスに近付けさせないように壁になったのですが、それはこれからももちろん必要です。具体的な壁もそうですが、もつといろいろな所で実態を広めて、こんなことは許されないということをみんな共有して、共有するだけじゃなくてそれぞれが行動しなければいけないと思いましたね。

仁藤 今日、私の話を聞いてくださったたらあまりのひどさに絶句という感じかなと思います。本当にこの状況をどうやって多くの人にわかってもらったらいいのか、複雑すぎて自分でもわからないんです。真実かどうかということには関係なくてデマばかりが広がって行く中で、行政や企業からの支援もどんどんなくなってしまう。今 Colabo に関わるとひどい目に遭うということになってしまつて、Colabo に連帯する発言をした人たちも次々嫌がらせで訴えられるということもあります。

それこそその妨害者たちの狙いで
すから、皆さんとこの現状をシエ
アしてお知恵もお力もお借りした
いと思つています。

こうして伝える機会を作ってい
ただいて、一緒にこの現状をまず
知ってもらつて、怒ってもらう。
怒りを共有して、女たちの行動に
繋げていくことをしたので、皆
さんの運動やこれまでの活動にも
学ばせていただきたいと思つてい
ます。

角田 仁藤さんの置かれている状
況はあまりにもひどすぎる。でも
その中で全然くじけないで活動し
ているのは驚嘆に値するんですけ
れども、そのエネルギーはどこか
ら出てくるんですか？

仁藤 やはりみなさんのような女
性たちが連帯してくれると確信し
ているからです。一人じゃない、
みんながいるし大丈夫と思える。
みんながこうして関心を寄せてく
れたり、大先輩の皆さんがこうし
て一緒に連帯してくれたらすると、
それがなかったら私もどう

なつていたかわからない。

あとは女の子たちとの関係性。
時間や関係性は奪えないから、当
事者運動として少女たちと繋がつ
てやってきた成果があつて、それ
だけ私たちが脅威だからこんな目
に遭つているんだと思つていま
す。社会の構造や敵を見つめ続け
て来たということも大きいのかな
と思ひます。相手がなぜそういう
ことをするのかというのにもよくわ
かるし、それをこうして角田さん
たちもいつも教えてくれるから、
一緒にそういう構図を見つめれば
怖くない。私たち女たちの力や存
在が脅威だからこそこういう目に
遭つているんだとすごく実感して
いるので、だからこそますます脅
威になつてやりたいなと思ふ。

角田 みんなで脅威になろう。

仁藤 性売買業者の裏にはヤクザ
や政治家の男、金持ちのバカな男
がいっぱいいてるのだからうけ
れど、私のバックには皆さんのよ
うな、ヤクザより怖い芯の強い女
たちがついていてる、だから何とか

やつていくことができていると思
います。

でも正直、ハゲたりしてます。
家に帰れずに路上で生活していた
時にもあまりにも過酷な生活で
なつたことがあるのですが、円形
脱毛症が再発しました。

韓国の活動とも連帯していて、
韓国に行ったときにスピーチで日
本の現状、Colabo に対する攻撃
の状況を話したら、韓国の女性団
体の人や性売買の経験当事者の女
性たちが怒りでみんな泣いてるん
ですよ。それを見て、「私つて
こんなひどい目に遭つてるんだ」
「やつぱりおかしいよね」と思え
て、やつと泣けるといふようなこ
ともありました。

角田 昔、松井やよりさんという
朝日新聞の記者がいろいろ突出し
て社会的に目立つ活動をしていた
ときに、松井さんの講演が企画さ
れたのに妨害があつてできなく
なつたことがある。そのときに松
井さんが言ったのが、「私たちは
ね、力がなかったら妨害に値しな
い」と。だから目障りになつて妨

害に値する存在に育つてきたとい
うことは誇つていいことだと思
うんです。何の影響もなかったら誰
も見ないわけ。

やはり Colabo の活動をのさば
らせておくとヤバイと思う男たち
がものすごい数いるということ
ですよ。暇空が Colabo 攻撃のた
めにと集めた九千万円の裁判費
用カンパに表れた男たちはみな
Colabo のことを怖いと思つてい
るわけよ。

だからますます私たちは頑張つ
て、女は男よりお金持つてないけ
れど、でもその中からでもできる
だけ金銭的なサポートもして、ぜ
ひ Colabo の活動を支えていきたく
い。そのことが今の日本のひどい
買春社会を変えていくひとつの
きっかけになると私は思つていま
す。だから頑張つて支援した
いと思つています。

仁藤 ありがとうございます。嬉
しいです。女たちがその痛みを言
葉にしたり敵を見つめたりして、
力をつけていくことが本当にあい
つらにとつては脅威なんだと日々

思っています。今このくらいは攻撃で済んでいるのはみなさんたちがこうして女として声を挙げる活動を続けてきたから。もっとひどくならないようにぜひ一緒にこれからも頑張っていきたいので、よろしくお願いします。

(インタビュアー八月二十九日)

注 暇空らへの損害賠償提訴を行っている。裁判は現在全部で一件(原告も被告も)が東京地裁に係属中。八月二十四日暇空がのりこえネットを訴えた件は、のりこえネット勝訴。裁判の現状については、
<https://youtu.be/VuOhvPv-ig8?si=wduXq7ippTHJ0TnN>
(または「裁判進捗状況のご報告 二〇二三年八月二一日」で検索)を参照のこと。



『当たり前前の日常を手に入れるために一性搾取社会を生きる私たちの闘い』仁藤夢乃編著、奥田知志、細金和子、ほか(2020年)

★Colaboでは、サポート会員・寄付・物品寄付を募集しています。ホームページ <https://colabo-official.net/> のフォームから会員登録申し込みが可能です。

インターネットを利用されない方は、次の振込口座をご利用下さい。

口座名義は、いずれも

「イッパンシヤダンホウジンコラボ」

●ゆうちょ銀行

記号 10150

番号 91829801

●ゆうちょ銀行(他金融機関など)

店名 〇一八(ゼロイチハチ)

店番 018

口座 普通 9182980

●三菱UFJ銀行

渋谷中央支店

口座 普通 0363448

投稿集

原発・汚染水 黙ってなんかいられない

次の選挙では、

断固「自公政権ノー」を!

林 克行

野村農水大臣が福島原発の「処理水」を「汚染水」と発言したことについて、岸田首相が嚴重注意し、立憲の泉党首は鬼の首を取つたように大騒ぎ。

しかし、そもそも核汚染水を何かの処理はしたものの、完全に除去したのではなく、何がしかの核物質は残っているのだから、「汚染水」で一向に構わないではないか。政権の常とう手段の言葉による実態隠しの一例だが、岸田の海洋放出のプロセスは約束違反で、もつと始末が悪い。最後の詰めに首相が自ら福島に乗り込んだので、漁連に意を尽くした説得をす

るのだろうかと思いきや、何と漁連関係者には会わずじまい。

その代わり、翌日に全国漁連(福島漁連ではない!)の会長と会談、筋書きの決まった茶番の玉虫色会見で、「一定の理解を得た」と、三日後には放水をはじめさせた。

八年前に「地元関係者の理解がなければいかなる処分も行わない」とした約束は反故にされた。福島の漁業者は、地元の最重要な関係者ではないのか!?

岸田首相が、心底から海洋放水に自信を持っているのであれば、福島まで行ったのなら、時間をかけて誠心誠意、福島漁民を説得するのが当たり前だ。それをしなかつたというのは、後ろ暗いところがあるとみられかねない。

岸田首相は、「敵基地攻撃能力」にしろ、防衛費一・五倍超予算にしろ、議会で十分審議するとか、解散して国民の信を問うとか、民

主義の基本手続きを蔑ろにして、しゃらつと決定してしまった。ソフトな振りをした、とんでもないファシストだ。

こんな岸田にとって、福島漁民をたぶらかすのは、なんの痛痒も感じなかつたらう。

次の選挙では、断固「自公政権ノ―」を突きつけないと、我々は、悲惨な「いつか来た道」をさらに進まされることになるだろう。

(九月一日)

原発は

国を滅ぼしかねない

鈴木忠夫

今年は関東大震災から一〇〇年ということ、多くのメディアが地震の恐ろしさ、地震への備えなどを報じていますが、原発が地震など自然災害にいかにか弱いか報じているものではありません。

原発は核反応で熱を出しその熱を利用して発電していることは誰もが知ることですが、原発は核燃

料を冷却するための冷却水が必要で、核燃料は常に冷却水で冷やし続けないと高熱で炉が爆発し放射能が飛散し大変な事故を招きます。

火力発電は停電したらずぐ発電を止めることができますが、原発は冷却水で炉を冷やし続けながら長時間かけて運転を停止するしか出来ません。原発は自己収束で発電を止めることが出来ないのです。冷却水を送り続ける電力が止まったら原子炉は核反応で破壊され、放射能が飛散する恐ろしい事故に繋がります。福島原発の事故もそうでした。

地震や津波に弱い原発、場合にによっては国を滅ぼしかねない原発に頼る発電は止めるべきです。

(九月一七日)



アルプス処理汚染水海洋投棄の中止を求めます！

渡辺真知子

八月二四日政府、東電は、二〇一五年に福島県漁連に文書で伝えた「関係者の理解無しにいかなる処分も行わない」を反故にし、国内外の反対を押し切りアルプス処理汚染水^{注一}の海洋投棄を開始した。

二〇一一年の事故当時、膨大な放射性物質が放出されてしまったが、今回の意図的な海洋投棄は(陸にある毒性物質、有害物質の放出を禁止した)「国連海洋法条約」第一九四条第三項に反する行為である。

二〇二一年、菅政権は最も安価な処理水海洋投棄を決定した。「大型タンク貯留案」・「モルタル固化処分案」(原子力市民委員会)、「広域遮水壁」建設案(福島大学の研究グループ)は、何ら考慮されなかった。

事故炉からの処理汚染水は、通常炉から排出される温排水とは異なり、トリチウム以外の放射性核種が基準を越えて存在し、放出される放射性物質の総量も、放出の期間も明らかではない。希釈したとしても、海中生物、漁業への影響は否定できない。原発周辺では小児白血病が高率で発症しているという調査結果を考慮するまでもなく、放射性物質は、厳重保管が原則である。

政府は、IAEAが海洋放出を妥当な方策と認めたというが、IAEA包括報告書は、海洋投棄決定を前提に、政府・東電が提出した資料に基づいて海洋放出決定を承認したものに過ぎない。

この計画は「清潔、健康的かつ持続可能な環境へのアクセスは普遍的な人権」と宣言した国連決議(二〇二二年七月)に反する行為である。

マーシャル諸島共和国政府は、「より安全な代替処理計画を日本に検討するよう求める」決議を採択し、「処理水放出は海洋資源に依存している太平洋諸島の人々の

命と生活を脅かす。太平洋を核廃棄物のごみ捨て場にこれ以上するべきではない」と訴えた。

九月八日、福島県漁民・住民ら一五一人は、ALPS処理汚染水放出差止めを求め福島地裁に提訴している。

政府・東電は二〇五一年までに処理水放出も含めて廃炉を完了させると言うが、通常炉の廃炉でも、炉心に核燃料が無い状態から始めて三〇〜四〇年かかるとされており、日本原子力学会・廃炉検討委員長宮野廣氏は、福島第一原発の二〇五一年廃炉はあり得ないと述べている。

政府・東電は、廃炉工程表を根本的に見直し、環境を汚染し生命に重大な影響を与えかねない海洋投棄を直ちに中止し、別の汚染水対策に踏み出すべきである。

注 燃料デブリの冷却水、原子炉建屋・タービン建屋内に流入した地下水・雨水をALPSで処理したもの

(九月二五日)

メールで読書会

6

平野卿子著

『女ことばってなんなのかしら？』

「性別の美学」の日本語



角田由紀子

わたしの女ことば

平野卿子さんの『女ことばってなんなのかしら？』を注文したらアマゾンからあつという間に届いた。私は裁判用の資料を急いで書いていたのだが、手に取ったら読むのをやめられなくなった。「うん、うん」「そうね」「なるほど」と読み進むうちに急ぎの仕事はそっちのけになってしまった。

わたしの女ことばの歴史をまず振り返ってしまった。私は北九州の片田舎で生まれ育った。周りは農家と炭鉱住宅であった。昭和



book club by email 6

二〇年代から三〇年代をそこですごした。当然、方言しか知らない。テレビもラジオも普及していない時代だから標準語に出会うこともなかった。学校の先生だって今思えば必ずしも標準語を使っていたわけではなかった。

そういう環境の中で私が使っていた方言には男女の大きな違いはなかった。一人称は男性は、「オレ」で女性「うち」であったくらいの違いだったろうか。私が「女ことば」の洗礼を受けたのは東京の大学に入った時であった。一人称やさまざまな語彙を含めて女ことばに出会った。以後五〇年余、私は女ことばのしつかりした使い手に成長した。

もちろん、書き言葉はいわゆる標準語を使う。女ことばは、話し

言葉として活用している。話し言葉としては極めて近い関係の女性たちと家族との間では女ことばを使っているように思う。女であることを出しても安心な相手とは女ことばがでてくるようだ。

それはなぜなのか。私は自他ともに認める(?)フェミニストであるつもりだ。そんなわたしがなぜ女ことばをつかうのか？ 家族や親しい女性との関係では性差別を意識しなくてよいからなのか？ 今までのそんなことを分析したことはないの、今、自分でたてたテーマに自分で戸惑っている。

大学生になって急いで女ことばを習得した。それは北九州の田舎の女子高校生が東京の大学生に交じって馬鹿にされないための手段であったように思う。私がその時急いで習得したのは女ことばだけではない。「田舎者」を象徴するアクセントの変更だ。私の北九州の方言(方言であるかは議論がある)では名詞のアクセントは頭高であった。例えば「リンゴ」は「り」にアクセントが置かれる。「下駄」もそうだ。「げ」にアクセセン

トが置かれる。大学生の時の教育実習でこれを間違えて東京つ子の高校生に怪訝な顔をされたことを思い出す。

女ことばもそういう中で急ぎ習得して、いっぱし都会の人間を装った。それ以来、今日までふうに女ことばが使えるまでに「成長」した。振りかえってみれば、「女ことば」は私の「標準」人間化の過程であった。女ことばが東京の上流階級の女性たちの言葉を起源としていることはそれを表しているのではないか。地方の働く女たちには無縁の言葉であったのではないか。しかし、今やメディアの恐ろしいほどの発達で女ことばも全国区になったようだ。

しかし、借り物の言葉にはどこか気持ちいが伴わないように思える。北九州にたまに帰った時、「方言」でやりとりすると、私は思いつきり深呼吸をしたような安堵感を覚える。そのうち、女ことばを卒業する時が来るかもしれない。

(二〇月八日)

私(女)に

自由なことばはあるのか

村山千津子



本書は「女ことば」をテーマに、古今東西の映画や小説の数々を例にあげて、日本語の中に組み込まれた性差別を浮き彫りにする。どのページを読んでも刺激的で興味を惹かれるが、私が最も印象深かったのは、「人称代名詞」の日本語と西洋語の比較である。

西洋語には一人称が一つしかないが、日本語には自分を表す言葉がたくさんあり、しかもそのほとんどが、「俺」「僕」「わたし」「自分」「小生」などの男の一人称だ。女性を表すのは「わたし(あたし)」くらい。そしてこの人称代名詞の



『女ことばってなんなのかしら?』平野郷子著、河出新書、2023年

性別による使い分けがはっきりしていることが日本語の大きな特徴だと著者は述べる。

指摘されてみると本当にそうだ。うすうす感じてきた言葉に潜む性別の根強さ、あくまでも男女で異なる使い分け、それが日本語なんだと気づかされる。たとえば、語学講座のテキストを読んでいた時に目にとまった、男女のカップルが話している会話文。原文のフランス語は一人称にも二人称にも人称代名詞には性の違いはなく全体的にニュートラルな表現なのに、訳された男の言葉は、「急げよ、電車に乗り遅れるぞ! お前と一緒にだ」と、いつつもこうだ! うんざりだ!」(NHKラジオ・フランス語講座、二〇二三年七月号)となっている。女がこういう言い方をすることはない。女が男を「おまえ」呼ばわりすることもまずない。もちろん西洋語でも攻撃的な口調か命令文か、あるいは従順でへりくだった表現かなどによつて男女の違いは現れるだろうが、そもそも女でも男でもまったく同じ人称代名詞が使われている

ために「女ことば」の存在があまり感じられない。一方、日本語には態度や言い方以前に、すでに男女の別、男女の上下関係が言葉の中に組み込まれている。これを突破するのは容易ではない。

もうひとつ考えさせられたのは、罵倒する言葉、罵詈雑言についてである。女は男のように相対する人間と対決して罵倒したり、口汚くののしつたりすることはない。そのような言葉を使うようには育てられていないから慣れ親しんでいないということもあるだろう。昔友人が痴漢被害にあった時に、その男に対して、「やめて下さい」「何をするんですか」と抗議したのだが、彼女が、痴漢なんか丁寧語を使わなければならぬなんてと憤っていたことを思い出す。ここには女らしくない言葉遣いをしない、ということ以上に、男の暴力の前に、思う存分自由に言葉を発することが封じられているということがあると思う。男を罵倒したらどんな報復をされるか、その恐怖で言葉が出てこないのである。これは本能的なもので

ある。

不埒な行為に及んだ男に対して、「その汚い手をどけろ！二度とこんなことをしたら承知しないからな。覚えておけ！」などとドラマよろしくすぐんでみたいと思うものの、この願いは一生かなうことはないだろう。高齢者施設で職員の男をきつい口調で叱った入居者の女性が、逆上した男に殺された事件もあった。

暴力の威嚇によって沈黙が強いられるのは何ともくやしきことである。

(二〇月八日)

日本語の特性は女らしさ？

三井富美代



本書や村山さんのメールにもあるように、罵倒することばは、「男ことば」にしかない。

激怒されてきつい言葉を女性から浴びたことは数回ある。泥水を浴びせられたようでひどく不快だったが、恐怖は感じなかった。これが男性からだっただらどうか。

激怒した男から「てめえ、殺すぞ！」と怒声を浴びせられたら、それは怖い。身がすくむ。

でもそんなことは滅多にはないし起こるとしたら、よそ見しないでぶつかつたとか、意図しないかたちで相手を怒らせたような場合だろう。たいていは相手は見も知らない男なのが普通だ。これが職場だつたらパワハラだし、家庭内ならDVで、犯罪行為になる。

では怒りからでなく、「あれをしろ」「こうやれ」「へ行ってこい」など、男ことばで指示されたらどうか。この場合も職場や家庭で日常的に使えば暴力になる。

ところで、最上敏樹さんという法学者が、映画「T A R / ター」の字幕についてある雑誌のエッセイに書いていた。最上さんは普段はバーゼルに住み英語とドイツ語を解するが、たまたま帰国中にこの映画を観て、目に入ってきた日本語の字幕に強い違和感を持ったという。(「婦人の友」一一月号)

「ター」は世界有数のオーケストラで指揮棒をふるう天才的指揮者リディア・ターの「栄光と没落

を描く、非常に良く出来た映画だそう。最上さんの違和感はそのターのせりふが「男ことば」で書かれていたこと(注)。本書にあるようにドイツ語や英語には性別がない。だからこれはターの人となりや性指向(ターはレズビアンという設定)を表現するための工夫だつただろう。

違和感の理由として最上さんは三つあげている。日本語にしかない性別ことばに訳することが芸術表現の一部になり得るか、また必要があるだろうか。性指向によって言葉を使い分けるような翻訳はその人達を尊重していることになるのか。三つめに字幕にあるような男言葉を自分は使っているか。彼はこう述べる。

「字幕の男ことばを見ながら、男はこんな粗暴な言葉遣いをしていのかと気が重くなつたが、よくよく考えるとそういう言葉遣いは、ふだんはほとんどしていないのだ」「言葉に関する限り、日本の男の大部分はそれほど粗暴ではない」

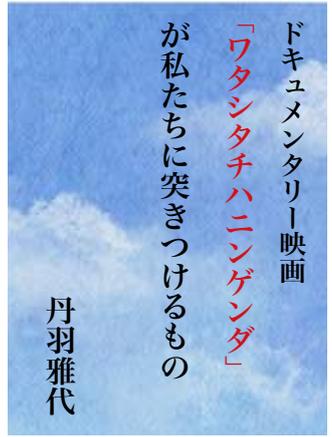
ほんとうにそうだろうか。昨今

よく耳にする職場のパワハラ問題は、多くにこの支配的暴力的男ことばの乱用が含まれていると思うのだが……。

ともあれ、私たちが通常使う日本語は、本書に指摘されているように「主語がない」「主観的」「受け身を好む」「遠まわしに拒絶する」「否定的な表現を避ける」等々の特性を持ち、それらは「女性的だとされ、批判されてきた」話し方であることは確かだ。むしろ、受け身、遠回しの拒絶、否定的表現の忌避、などの言い方は近頃ますます過剰になつていると感じる。「くさせていただきます」などと、気持ち悪いと思いつつ自分でもつい使いそうになることがある。

こうした女ことば、そして日本語の持つ「特性」についての平野さんの本質をつく指摘は、日本人や日本社会のありようにも繋がり、とても考えさせられた。ことばに敏感になること、ことば遣いから変えていくこと。その大切さなど、腑に落ちることの多い本だ。(注) 字幕翻訳は配信会社によって異なる場合がある。

CINEMA



ドキュメンタリー映画
「ワタシタチハンジンデン」
が私たちに突きつけるもの

丹羽雅代

興味深いドキュメンタリー映画
をご紹介します。

この映画の作り手は在日二世の
高賛侑（コ・チャニュー）さん。
ノンフィクション作家としていく
つかの出版物作品を世に出してき
たが、より明確に伝わるものをと、
映像に取り組むようになった。

二〇一九年に、日本のなかの朝
鮮学校を正面からとらえ、大反響
を呼び続けている「アイたちの学
校」を発表。ともすれば北寄りの
監督だと無視されがちだった韓国
でも多数回上映され、反響はとて
も大きい。全米大学図書館や欧州
各国でも見ることができている。

映画は前作で描かれた在日韓
国・朝鮮人（オールドカマー）の
置かれた差別的処遇の根拠となる
「外国人登録法」によって、戦後

日本に入国してきたニューカマー
たち——多くは開発途上国といわ
れる国々からの非白人や、難民と
して紛争中の国々から命がけで日
本にやってきた人々が、どのよう
に過酷な差別にあっているかを告
発する。

従来、日本が「外国人」をどう
扱っているのかということは、社
会的に可視化され問題視されるこ
とはほとんどなかった。

納税義務は日本人と同じで、日
本の公立学校なら子ども達はいつ
でも入学できるし無償だという。
しかしかれらの、自分たちの民族
の歴史や言葉を子どもたちに伝え
たいという思いへの理解は、日本
の制度にはない。今も朝鮮学校は
各種学校のままでし、通学定期な
ど教育に関するさまざまな補助金
も、そのわずかな一部さえ、常に
戦わなければ得られなかった（大
学校は美濃部都知事の時代に認可
されている）。

一九一〇年、日本は「日韓併合」
を宣言し、朝鮮半島を植民地とし
て日本の一部とした。

朝鮮人は皇民化政策のもとに名
前を奪われ、言葉を奪われ、暮ら
しを奪われ、日本に自ら渡ってく
る人々もいた。徴兵制が適用され、
第二次世界大戦に送り込まれる人
も多量にいた。

一九四五年の日本の敗戦は、朝
鮮の人々には勝利がもたらされた
はずだが、帰国した人々は、南
北分断に直面し、日本に残った
六〇万人の人たちは何の保証もな
いまま、放置された。

まずは言葉を民族を取り戻そう
と作られた場が民族学校だが、社
会的に認められる存在となるまで
にはいくつもの戦いと運動が必要
だったし、それは今も変わらない。
今年の暑かった夏も、朝鮮学校の
クーラー取り付けには、多額の寄
付を集めなくてはならなかった。

一九五一年のサンフランシスコ
条約締結・発効と同時に韓国朝鮮
人・台湾人は否応もなく日本国籍
を離脱。納税義務は負わされるが
社会保障などはほとんどなかつ
た。そしてその根拠法が外国人登
録法だ。

それでもオールドカマーであ

る在日朝鮮・韓国人への差別に
抗議する声は少しは届きやすく
なった。一つ一つの差別との戦
いが続き改善もわずかに進んだ。
一九八〇年代に、大きな焦点と
なった指紋押捺拒否運動などは今
も記憶に新しい。

問題はいわゆるニューカマーに
対する政策がひどいものだという
現実だ。この高さんの第二作で、
私たちはその現実に直面させられ
る。

この映画は日本人に「ガイコク
ジン」と正面から向き合うことを
求める。

在日外国人の処遇は「日本政府
の自由裁量であり、煮て食おうと
焼いて食おうと自由」、と法務省
入国管理官が自著に書いていくく
らいだ。それらの差別が、ニュー
カマーの外国人政策にそっくりそ
のまま、というよりはより過酷に
受け継がれている。

紛争が続く国々で難民が生ま
れ、多くの人が逃れて違法滞在者
となり隠れて働くという現実が多
くの国・地域で起きている。

一方日本の拡大成長する生産現



上映情報は、
<https://ningenda.jp>

場では、働き手が足りなくて、外国人労働力が実質的には大きな助けになってきた。しかし法的な保証などはない。在留資格などはむしろ規定が悪化しており、オーバーステイが発覚すれば有無を言わず強制送還、入管収容になる。技能実習制度など正規での滞在者に対しても、日本のためではなく発展途上国に日本の技術を広めるための国際貢献だ、というご都合主義の建前がいまも崩れてはいない。

日本が、人権という概念がちやんと成立する国になるための道は、簡単ではない。次々と起きている事実を、しっかりと認識し、日本人自身が、変化を作り出す主体とならなくてはならない。

しかし実態はどうか。前述の子どもたちが民族教育を受ける権利

も、難民としてやってきた人々が尊重されるべき権利も、日本で安全に安心して生活する権利も、非正規滞在とされた外国人には全く保証されない。

出入国を管理する機関そのものが安全・安心を奪う。ウイシュマ・サンダマリさんの死はその象徴と言える。

国際人権規約・自由権規約／社会権規約には、すべての人民が自決の権利を持っており、人種・皮膚の色・性・言語・宗教：出生または他の地位（国籍を含む）などによるいかなる差別もなしに生きる権利が尊重され確保されると明記されている。

この映画は、日本が生き残れる可能性を、きちんと示している。日本は人権侵害や差別に苦しむ人々に寄り添い、支えあう多民族・多文化共生社会に意識的に向かうべきなのだ。

人々はみな声をそろえて叫んでいる。「ワタシタチハ ニンゲンダ！」と。

重いけれど、みんなが認識するべき課題が迫ってくる。

★読者のみなさまへ★

一票で変える女たちの会では、「かわらばん」発行のお知らせや投稿募集、憲法集会などの情報を不定期に配信専用のメーリングリスト（ML：1votewoman@mio-minmio.sakura.ne.jp）でお届けしています。

しかし、最近このMLが届かないという方が増えてきました。多くの場合、迷惑メールとして処理されてしまうようです。お手数ですが、迷惑メールボックスなどをチェックして、受信箱に戻すか、「迷惑メールではない」をクリックしていただきたく、お願いいたします。

また、会からのMLが不要の方、アドレスの変更や新たな登録を希望される方は、1pyodekaeru@gmail.com までお知らせ下さいますよう、お願いいたします。



『一票で変える女たちの会』かわらばん
★印刷版をご希望の方は左記FAX、メール、ホームページの問合せ欄からご連絡ください。

★投稿大歓迎！

本や映画の紹介、地域での活動報告、選挙や地域の政治の動き、情報、ご意見なんでもお寄せください。

宛先

Email：1pyodekaeru@gmail.com
郵便：〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1の1

東京ポランテシア・市民活動センター

メールボックスNo. 45

FAX：03-5684-1412

HP: <https://1pyo-de-kaeru.com>

★カンパのお願い

私たちの活動に賛同する皆さん、ぜひカンパを！

郵便振替口座：

記号番号 00110-6-420003

口座名称 一票で変える女たちの会

イッピョウデカエルオンナタチノカイ

銀行等から振り込む場合：

店名(店番) 〇一九(ゼロイチキョウ)

店 (019)

預金種目 当座

口座番号 0420003





短信

一票で変える女たちの会 フェイスブックから

会のFBから抜粋して情報を掲載します。詳しい内容はそれぞれのサイトをご覧ください。太字の見出しまたは写真をクリックするとリンク先に移動します。移動しないとき、印刷版の場合は、見出しなどで検索してください。日付はFB投稿日。

10月11日

ノーベル経済学賞にゴールディン氏、男女賃金格差を研究 初の女性単独受賞 BBCニュース

経済学に残る性別イメージについて・・・ゴールディン教授は、2018年にはBBCの取材で、経済学ではなお、女性に対するイメージの問題があると述べた。



「大学に入学する前から、学生たちは経済学を金融や経営に特化した分野だと思っている。また、女性は男性に比べてそうした分野にあまり興味を示さない」「もし我々が、経済

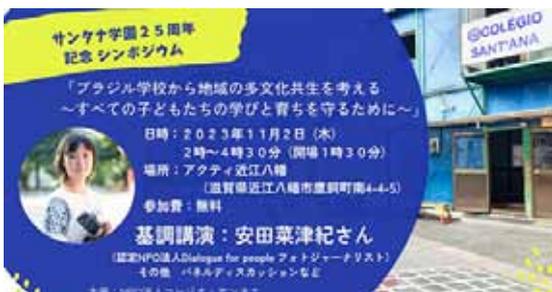
学は『不平等や健康、家庭でのふるまい、そして社会』についての学問であると説明すれば、もっとバランスが取れるはずだ」

10月4日

2つのイベントのお知らせです
NPO法人コレジオ・サンタナ CONGRANT.COM

①国際交流こども絵画展 ARTで知ろう つながろう ブラジルと日本
2023年10月21日～11月12日@愛知川びんてまりの館

10月21日はトークイベント「アートを通じて見た外国人学校の現状と未来～WinWinの国際交流～」を行います。



②サンタナ学園25周年記念シンポジウム
ブラジル学域の多文化共生を考える

10月2日



change.org
あなたの声がかき声になります
アメリカのウクライナへの劣化ウラン弾供与に反対します！

9月27日

日本では犯罪者扱いだが、フランスでは売春の現場にいる人は保護の対象。
Think Gender 2023
インタビュー 第14回望まぬ妊娠「男性不在」の日本 女性や子ども政策、フランスの視点は 聞き手・大貫聡子
9月26日 朝日新聞デジタル 有料記事

……日本では今も孤立出産し、死産した子を遺棄したとして女性が罪に問われる事件が絶えません。パリを拠点に、子ども家庭福祉を研究する安發(あわ)明子さん(42)は、問

題の根底には「売春せざるをえない、誰にも助けを求められない人が追い詰められてしまう制度の欠陥とそうした人々への無理解。妊娠させた男性や買春した男性の責任は問わず、女性の自己責任に帰する人々の意識の不均衡が問題だ」と指摘します。日本とは視点が異なるフランスの女性や子どもをめぐる政策について聞きました……

9月25日

ZOZOTOWN 2023.08.07
女の子だから、男の子だからをなくすために、どうしたらいい？

世界146カ国中116位、G7で最下位。これは2022年に発表された、日本のジェンダーギャップ指数の順位です。ジェンダー平等が国際的に謳われる中、日本が遅れをとっているのはなぜでしょうか？弁護士という立場から離婚やDV事件などで女性をサポートする、太田啓子さんにお話を伺いました。



か？弁護士という立場から離婚やDV事件などで女性をサポートする、太田啓子さんにお話を伺いました。

9月23日

杉田水脈議員の差別的発言、札幌法務局が「人権侵犯」と認定。

杉田衆院議員の「人権侵犯」認定
アイヌ民族への差別的投稿―札幌法務局時事ドットコムニュース

自民党の杉田水脈衆院議員がブログなどにアイヌ民族に対する差別的な投稿をした問題で、札幌法務局が「人権侵犯」と認定していたことが20日、分かった。救済を申し立てていた札幌アイヌ協会の多原良子さんが明らかにした。認定は7日付。

……杉田氏は2016年、国連の会議に出席した際、「チマ・チョゴリやアイヌの民族衣装のコスプレおばさんまで登場」とブログなどに投稿。多原さんが今年3月、法務局に人権救済を申し立てていた……



9月20日
change.org
あなたの声がチカラになります
人工妊娠中絶当事者の負担を減らしたい！
#中絶薬が10万円はありえない

9月17日

戦い方を心得たイランの女性たち、革命以来の歩みを振り返る
cnn.co.jp



2022年9月16日、ヒジャブを正しく着用していないという「罪」でクルド系イラン人女性のマフサ・アミニさんがイランの道徳警察に拘束され、勾留中に死亡した。この出来事をきっかけに市民蜂起が起きると、市民活動家から各国のリーダーに至るまで、たちまち世界中から関心と支援が寄せられた……予想していた通り、蜂起に対するイラン政府の反応は恐ろしいほど残酷だった。だが最終的に、女性たちは街に出て、もっとも重大かつ受け入れやすいスローガン「女性、命、自由」を叫び、長期的な変化を残した。この3つの言葉は男女問わず世界中で繰り返され、世界各地の建物、看板、旗に様々な言葉で記された……

9月14日

三上智恵さんのFBから
全住民1日で石垣へ 与那国町 有事避難計画を説明―琉球新報

いよいよ 万が一の時の全島避難の住民説明会が 与那国島で開かれた……まずは租納集落のみの説明会だが 町内放送だけだったので 20人ほどの参加しかなかった 1700人余り まずは徒歩で近くの集合場所へ そこからバスで港が空港へ……

9月14日

「扉を開く」2人の女性に。米タイム誌「次世代の100人」に！
asahi.com

五ノ井里奈さん、英利アルフィヤ氏が「次世代の100人」に 米誌・朝日新聞デジタル
米タイム誌は13日、世界に変化をもたらし、今後の活躍が期待される「次世代の100人」を発表した。日本からは元自衛官の五ノ井里奈さん（23）と、衆院議員の英利アルフィヤさん（34）が選ばれた。「次世代の100人」は2019年に始まり、毎年5つの

カテゴリーに分けて発表される。同誌によると、世界に散らばる編集者や特派員から数百人の候補が挙げられ、毎週議論して決めたという……

9月12日

東京新聞、9月10日、一面トップの記事です。

「名もなき人の#MeTooにリスペクトを」 性暴力・セクハラ告発運動の「その後」描いた韓国映画、公開へ…東京新聞 TOKYO Web

5年前、韓国社会に吹き荒れた「#MeToo運動」の「その後」を描いたドキュメンタリー映画が、16日から全国で順次公開される。自らも性被害で苦しんだ、元新聞記者の女性が開いた作品の自主上映会がきっかけとなった。女性は「名もなき人の#MeTooをリスペクトする作品。多くの人たちに見てほしい」と語る……



……

9月6日

江川紹子さんコメント「世界経済フォーラム (WEF) のジェンダーギャップ指数において、とりわけ政治部門で日本が世界最低クラスを低迷しているのはこのような障害が、ゴロゴロあるからなのでしょう」・・・全くその通り！

議会の質問順抽選、子連れ的女性市議の参加不可 質問機会失うことに・・・朝日新聞デジタル

愛知県豊橋市議会で、女性市議が定例会での一般質問の発言順を決める抽選に、子連れで参加しようとしたところ、議長らに「子連れでは抽選できない」と断られ、質問する機会を失った・・・長女(2)が前日から発熱。そのため、長女を連れて市議会へ行き、「保育園に預けられない状態。手短にくじをひき、失礼させて頂くことはできないか」などと近藤喜典議長(43)らに相談したという・・・別室で子ども一人で待機するよう提案されたが、諸井市議は「体調不良の子を知らない場所に一人で残すことはできない」と断った。抽選に参加できなかったことで、諸井市議は(9月)4～6日の一般質問

に立てない……

9月7日

仁藤夢乃さんのFBから

今回、「ゆめにゃんのフェラ画像」などと繰り返してSNSなどしている男から、「俺はストーカーじゃない！」と謎に訴えられた訴訟で、あまりにもひどいと名乗りを上げてくれた弁護士さんがたくさんいて、100人を越える弁護士になった。私は14歳くらい頃かからこういう男たちを見つけてきた。こういうキモオタまでもがメイドカフェなどで少女・女を堂々と買えるようになったのが2000年代。AKBを通して少女を選べる立場に(応援という建前のもとで気持ちよく)なったと勘違いする人も激増した……

9月4日

「虐殺否定すれば

次の死者も」朝

鮮人犠牲者に追悼

文送らなかつた

小池知事に抗議

の「ダイ・イン」…

東京新聞 Tokyo



web 9月1日

東京都が昨年、関東大震災の朝鮮人虐殺に触れた映像作品の上映を認めなかったり、小池百合子知事が朝鮮人犠牲者追悼式典に7年連続で追悼文を送らなかつたりしたことを受け、労働組合「プレカリアートユニオン」らが1日夜、新宿区の新宿中央公園で抗議活動を行った……

9月4日

想田和弘さんのFBから

田中正造が亡くなって今日で110年だそうです。渡良瀬川の近くで生まれ育った僕にとっては、郷里の尊敬する大先輩です。「真の文明は山を荒さず、川を荒さず、村を破らず、人を殺さざるべし」。私たちの文明は、



残念ながら、正造が目指した文明とは真逆の方向に進み続けています。

9月4日

有料記事では「……震災で失業した女性たちに布団の縫製などの仕事づくり……遊郭で多くの女性が焼死・溺死(できし)したことから、公娼(こうしょう)

制度の廃止を訴える……女性の地位向上や女子教育の推進を掲げ……婦人参政権運動にもつながって……と書かれています。語り手は「減災と男女共同参画 研修推進センター」共同代表の

浅野幸子さん。 廃娼、参政権…… 関東大震災で女性たちが社会を変えようとした理由…

朝日新聞デジタル

100年前の関東大震災の直後、社会の

ありようを変えようとする救援活動を繰り広げた女性達がいた―彼女たちの運動と、今そこから学ぶべき視点について……



8月29日

三上智恵の沖縄(辺野古・高江)撮

影日記 第119回

「戦う覚悟」を強

要する政府へ麻生

発言に揺れる沖縄

マガジン9

「戦争とは爺さん

が始めておっさん

が命令し 若者



たちが死んでゆくもの」。これは大橋巨泉さんの残した言葉だ。まさに、リアリティもなく戦争を語り、無責任にも他国を含む国民や若者の命を消耗する決断が自分のできるかのように錯覚して戦争の……

8月28日



外国籍の子ら通う施設、無償化打ち切りも「日本の保育士」基準が壁…朝日新聞デジタル
有料記事
約一万人のブラジル人が暮ら

し、製造業を支える滋賀県。外国籍の子どもたちの受け皿となつている認可外保育施設が、国の幼児教育・保育の無償化の基準見直しを訴えている。条件となる「日本の保育士資格を持つ職員」の確保が難しいためだ。外国人向けの保育施設が多い全国の自治体も、同じ事情を抱える。滋賀県愛荘町のブラジル人学校兼保育施設「サンタナ学園」……保育施

設には現在、0〜5歳のブラジルやフィリピンの外国籍の子どもたち22人が県内8市町から通う。

2019年10月から始まった幼保無償化。認可外保育施設が対象となるには、保育士資格者の数や、子ども1人あたりの保育室の面積など、国の一定の基準を満たす必要がある……学園では4年前から日本人スタッフ働き、日本語で書類作成をするなど基準を満たす努力をしてきた。しかし、今秋行われる施設への立ち入り調査で、基準を満たせる見通しは立っていない……。

8月28日

東本久子さんのFBから
ぜひ観たい映画

映画『燃えあがる女性記者たち』公式WEBサイト



インド北部で、被差別カースト・ダリトの女性たちが立ち上げた新聞社「カバル・ラハリヤ（ニュースの波）」。
偏見や暴力にひるむことなく、独自

のニュースを伝え続ける彼女たちのドキュメンタリー。9月16日公開

8月24日

Change.org



あなたの声がチカラになります
漁業者との約束を守り、福島県民・国民合意のないALPS処理水の海洋放出は強行しないことを求める緊急要請署名

8月23日

金平茂紀さんのFBから

僕は、この声明を全面的に支持します。
原子力市民委員会 緊急声明

「関係者との合意を無視した海洋放出決定は最悪の選択である」を発表

……

8月19日

主張するネコたちのこと



【主張するネコたちのこと】

8月19日

Change.org

あなたの声がチカラになります
2023年の「防災の日」に追悼文を出して #ヘイトクライムを抑止しよう

8月17日

仁藤夢乃さんのFBから



自立した女性のための映画「イト」などだったので……

8月17日

「300体を生体解剖」細菌戦部隊の証言 市の施設で展示見送り…朝日新聞デジタル 有料記事

加害の歴史を伝えるパネルの展示

が、一年以上宙に浮いている。戦争や平和について学ぶ施設として、長野県飯田市が昨年五月に開設した平和祈念館。日章旗や特攻隊員の手紙など、市民から寄せられた太平洋戦争にまつわる約120点が展示されている……旧日本軍の「731部隊」の元隊員らの証言を含むパネル8枚も掲げられるはずだった……見送った理由について、祈念館を運営する飯田市教育委員会は「731部隊は研究途上で、社会的にも様々な意見が存在しており、慎重に検討する必要があると判断した。遺族の同意が得られていない証言もある」と説明する……

8月16日

Kaorin Kanna-Suki Yoshioka からのFBから



8月14日。1991年に韓国の金学順さんが日本軍「慰安婦」制度の被害者として名乗り出たこの日がメモリアル・デーと定めら

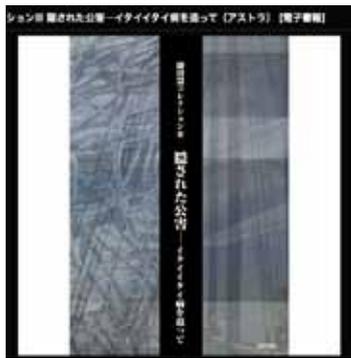
れ、2013年から世界各地で様々なイベントが開かれています。日本でも、アクティブ・ミュージアム「わたしの戦争と平和資料館」(wam)にて、2017年から、訃報が届いた女性たちにお花を捧げる「追悼のつどい」が開かれています……

8月13日

企業・行政ぐるみで巧みに隠されたあの公害。その構造と風評被害についての重要な考察が書かれているという。電子書籍のみ。

印 鎌田慧さんのFBから

鎌田慧氏の『隠された公害―イタイイタイ病を追って』イタイイタイ病と言っても富山県神通川の話ではなく、対馬のケースを追ったルポ。イタイイタイ病では、カドミウムの撰



取によって、腎臓がやられて、体内のカルシウムが体外に排出されてしまい、骨がスカスカになってしまい、骨が折れやすくなったり、神経の痛みに襲われる。特に出産時に……

8月11日

中嶋寛さんのFBから

新たな資料から新たな事実。アメリカ軍は原爆投下の影響調査にさつそくやって来ていた。長崎で残留放射線を記録したが、隠蔽。報告書はなかったことにして、残留放射能はないと発表。上空で爆発したため地上に放射線は残らずという表向きの説明。原爆開発を主導したグローブス少将の意向だ。しかし、長崎での調査は継続していた。日本側に……

